



シター

～CS委員研修、中台小学校iCS活動事例紹介～

発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

9月12日(木)にCS委員研修を開催しました。研修内容と参加者の皆様よりいただきました感想などを紹介します。

また、中台小学校のiCSで取り組まれている、「さくら草の育成」の継続に向けた取組と新たな試みを紹介します。

よいよいよ熟議にするために～CS委員研修を振り返る～

“会議あるある”になっていませんか？

- ・いつも同じ委員ばかり話していて、座っているだけで熟議が終わる...
- ・こうした方がよくなるのになあ...ほんとの気持ちは胸の内に
- ・時間に押されて意見や要望の言いつぱなしで何も決まらなかった...

CS委員会を盛り立てるためには、皆さん一人ひとりの意見が重要となってきます。



CS委員研修ではこんなお悩みをどう解決すればよいか、四柳千夏子氏（文部科学省CSマイスター）をお招きし、講義を行っていただきました。

みんなで熟議をするための「話し合いの約束事（ルール）」

- ・一人が長くしゃべりすぎない。限られた時間を“全員で”使いましょう。全員の意見をまとめるときは、ふせんに書き出すことも効果的です。
- ・話し合いをポジティブに。否定、批判は視野を狭め、素直な意見が言えなくなります。
- ・意見を尊重し、聴く姿勢を持つ。一人ひとりの意見がみんなの意見に結びつきます。

実践して感じてみよう！

グループワークでは講義内容を体感していただくため、熟議を実際に行いました。誰でも話し合える熟議を意識しながら、テーマの解決に向けたアイデアを導き出していました。

研修にご参加いただいた方々の感想

- ・意見を出し合え、共感できた。それにより話し合いのゴール地点を描くことができた。
- ・皆さんが「うんうん」と肯定的に明るく聞いてくれて話しやすく、楽しかった。
- ・自分では思っていなかった様々な意見が出た。話しやすかった。

CS委員研修の実践！

新河岸小学校のCS委員会では、今回の研修を受講した委員がファシリテーターを務め、以下の3つのポイントを踏まえて実践し、有意義な熟議となりました。

- ①委員がそれぞれの立場で「意見を言いやすい問い」を設定すること。
 - ②一人で考える時間とグループで意見を共有する時間を作り、「時間配分」を行うこと。
 - ③意見をふせんに書き、それを模造紙に貼り付けながら伝えて「意見の可視化」を行うこと。
- ファシリテーターを務めた委員は、「様々な立場の委員がいるからこそ、多様な意見が出たと思う。全員が同じ方向を向き、ビジョンを共有できたのでは」と手ごたえを感じていました。

CS委員研修の講義をアーカイブ配信いたします。

二次元コード先のリンクから12月27日までご覧いただけます。ぜひご覧ください！



～中台小学校～

さくら草の育成の継続に向けた取組と新たな試み

中台小学校では、5年生が年間を通じて地域の方々のサポートを受けながらさくら草を育成し、満開となったさくら草は地域の「さくら草まつり」や、卒業式、入学式などの花道を華やかに飾っています。

さくら草の育成は、子どもたちの情操教育の一貫として昭和56年から続いている中台地域の取組で、地域の世話人のご厚意により、苗まで育てていただいたさくら草を5年生が引継ぎ、開花まで大切に育成しています。しかし、地域の世話人の減少や、近年の夏の猛暑などの影響により、このままの体制では継続が難しいと危惧されました。



そこで、令和5年度から6年度にかけて、CS委員会で活動の継続に向けて熟議を重ね、学校とCS委員、学校支援地域本部の地域コーディネーターなどの連携により、学校休業日や荒天時の苗の管理など、現在の世話人だけでなく、広く地域ボランティアの協力を得る仕組み作りについて話し合いました。

また、「子どもたちがさくら草を種まきから育ててみてはどうか」という提案があり、新たに3年生の理科で、地域コーディネーターが働きかけた世話人をゲストティーチャーとして招き、さくら草の種まき授業を行いました。

授業には、地域ボランティアの方々も参加し、子どもたちをサポートしました。さくら草を育てるためには多くの手順が必要になります。ボランティアの方々も、子どもたちのさくら草育成をフォローできるよう、ゲストティーチャーのアドバイスを熱心に聞いていました。



授業後のCS委員会では、「3年生で種まきをして5年生で育苗し、卒業生に贈るといった一貫した活動がこれからできる。」という意見や、「育成を行うだけでなく、さくら草や地域との関係などを総合的な学習の時間に調べる学習をしたらどうか。」などの意見が挙がりました。活動の継続と新たな試みの発展に、学校と地域の期待が込められています。